会で取り上げました。

が中高年に集中してい 台に急増し、その多く

後藤は、

このこ

発達障害は、

問題点を聞き取り、

体の現場から様々な

を区切りに全国3万人

自殺者数は、H10年

援を行っている施設や

高崎市八幡町800-24

障害者、自殺対策を現場の視点から提高

TEL&FAX 027-343-1393 e-mail ccrgoto@af.wakwak.com

http://www.ccrgoto.com/

# 発達障害者支援、

度という歴史が浅く、 識が定着しているとは 法律が出来て5年程 教育現場での認

割を質しました。 援を切り口に、県の

後藤は、

障害者の支

発達障害支

見・支援が不可欠です。 的に判りにくいことか 幼児期での早期発

知的障害と違い、表面

県の役割を質す

乳幼児健診や保育園 なバックアップが必要 派遣するなどの専門的 ように県がスタッフを 見・早期支援が行える 幼稚園において早期発 であることを提言しま

とを提言しました。 ①失業者や多重債

とから、急増した原因 環境にあることを指摘 は、企業環境・経済的 し、ここに焦点を置い 者が急増していること せるための対策を強化 や行政窓口でフォロ ク者」をハロ する。②企業環境が厳 企業を中心に県が支 ス対策が行えない さを増し、 生活再建に向かわ 特にメンタル 精神疾患 ーワー ク

支出していたことが分かっ

ネスホテルに夫婦で宿泊。2

金子県議は新潟市内のビジ

際、妻を同伴し、夫婦2人分

が北陸方面に視察旅行した

たため、「妻に運転手役を頼

んだ」という。

たが、急きょ来られなくなっ

手として同行させる予定だっ

の宿泊費を政務調査費から

観光キャンペーン「新潟デス

子県議は16日、朝日新聞の取

を政調費で全額請求した。金

人分の宿泊費1万4545円

材後、宿泊費の半額のみ請求

金子県議は昨年9月、大型

ン」の視察名目で、新潟、福 ティネーションキャンペー

する修正手続きをとった。

)た原因を捉えた

自殺対策を提言

福島みずほ大臣を招き、重度知的障害者施設を視察 た対策が必要であるこ

自殺対策の最前線で取り組む、 産業カウンセラーの現場を視察

政務調査費が本来

現しました。

# 政務調査費100%透明化、4月よりスタート

「運転手頼んだ」

取材後に修正手続き

る「政務調査補助員」を運転 政調費の支出が認められてい 妻同伴の金子氏

問題ある使途の 天態が明らかに

ブーであった政務調査 県議会の最大の 4 月 よ

入ったことは、「県民 た政務調査費にメスが

費の透明化も、

り100%透明化が実

改革は新たなステージへ

の手を緩めることな 後藤かつみは、改革

く、次の一歩として「県 れる議会を目指しま 算修正案を提案し、会 民目線の議論」が行わ は、リベラル群馬が予 先の2月予算議会で た。 ていく議会活動を目指

スコミ報道でも問題あ

す。

になってきました。 る使途の実態が明ら

県議の最大の「特権

切に使われているの

マか

目的に沿った活動に適

に注目が集まる中、

を踏み出したものと言 け、極めて大きな一歩 目線」の議会改革に向

民目線に立った予算な 論戦を繰り広げまし のか」を巡って激しい

条例・予算案を提案し から脱却し、議員自ら ル群馬は「役人任せ」 このように、リベラ

## 6月17日 朝日新聞記事より抜粋

田市から車で出かけた。 島両県を訪問。自宅のある沼

金子県議の説明によると、

から自民党に合流したポラリスの会(2人)も9カ月で5 が海外視察するなどして1億620万円を全額支出。1月 派の自民党(99年末まで29人、今年から31人)は延べ7人 調査費の2009年度分の収支報告書を公開した。 最大会

県議会は16日、議員の調査研究のために支給された政務

09年度県議の収支報告書

妻同伴の視察旅行も

# 本県観光の弱点克服策を提言

C)」が開催されます。

後藤は、

DCが数億

ン・キャンペーン(D

スティネーショ

復するだけの典型的な 提言しました。 ければならないことを を克服する契機としな 県観光が抱える「弱点 わらせるのでなく、 円を投じるイベントで ら温泉地を直線的に往 あることから、 過性のイベントに終 本県観光は首都圏か 単なる

を作ること。④JR駅 から降りた先の観光地 を「周遊」できる企画 により、史跡や街なか

る観光と公共交通を結

びつけた振興策を

であることから、観光

H22・23年度にかけ

振興が必ずしも地域経

DCを弱点克服の契機に ギです。 にあり、 いるとは言えない現状済の活性化に繋がって この克服がカ

下:上信電鉄の活性化の取り組みを支援上:高知県の路面電車の状況を視察観光を公共交通活性化の起爆剤に

動きが出てきつつ



策として①地元農産物 ②ブランド力の乏しい の魅力を高めること。 を積極活用した「食」 の歴史的資源にスト PRすること。 ③個々 土産」を磨き上げ、 後藤は、具体的克服 性を持たせること 公共交通の強化を提言 間を結ぶ「二次交通 新潟県や高知県におけ をもたらし、地域おこ 観光が地域経済に潤い と。の4点を指摘し、 通の活性化に繋げるこ であるバス等の公共交 点」であり、 本県観光の最大の「弱 策を提言しました。 しに繋がるような振興 特に、公共交通は、 後藤は、

究を重ねてきまし 間を結ぶシャトル のある「磯部駅」 糸場」と磯部温泉 月には、 提言しました。 新設を県が積極的 ぶ企画観光路線 視察するなど、 に支援することを スの運行が始ま 本議会では、 観光地間を結 「富岡製 6

> 国道18号に押しボタン式信号が新設されたことにより、 交通量が増えたものの、市道が狭く車両のすれ違いにも支 障がある問題がありました。後藤は、地元町内会と連携し 国と協議を進め、市道の拡幅工事を行いました。

> また、信号に名称が無かったことから、地元要望に沿っ て「中豊岡南」と名称を付与しました。

国道18号と交差する市道を拡幅改良 新設信号に地元要望の名称を付与(中豊岡町)



車両のすれ違いも困難な市道を拡幅し、 安全な走行を確保





地元要望に沿って信号の名称を付与

下小鳥、飯塚・飯玉、八幡の3地区での県政報告会を開催し、地域課題の取り組み等を報告しました。



5月14日 下小鳥地区



5月15日 飯塚・飯玉地区



5月30日 八幡地区